

第1回鬼北町老連クローカー大会

6月30日、鬼北町老人クラブ連合会主催によるクローカー大会が鬼北総合公園多目的広場において開催されました。大会は町内6つの支部から55チーム、185人の選手が参加。予選リーグを勝ち抜いた22チームが決勝トーナメントに進出し、日頃鍛えた技術を競い合いました。上位入賞チームは次のとおりです。(敬称略)

優勝 小松Bチーム (松浦 忠、松浦 寛、松浦孝子)

準優勝 下組Aチーム (岡本 武、松浦タツコ、今村眞理子
松浦顯子)

第3位 清水Bチーム (芝 定男、薬師寺隆、鈴木一博)

上川福友会Aチーム (福岡克己、福岡トシ子、芝 艶子)



優勝した小松Bチーム



訓練を受ける教職員

愛治小学校防犯訓練

6月30日、愛治小学校において、不審者から子供達を守る目的で、小学校教職員による防犯訓練が行われました。当日は講師として宇和島警察署より2人の警察官を迎え、「不審者に対しては、まず、声をかける」「大きな声をだす」、授業中に侵入してきた不審者に対する対応や、襲ってきた不審者から身を守る護身術、「さすまた」の有効な使用方法など1時間の講習を受けました。

まちおこし友好地域協定調印式

7月7日、町民会館において、鬼北町と、福島県福島市の土湯温泉観光協会との「町おこし友好地域協定」の調印式が行われました。旧広見町と同協会は、平成15年6月に友好地域協定を締結しており、今回は、鬼北町の市町村合併に伴い再調印したものです。鬼北町はキジを土湯温泉に提供、土湯温泉はキジを名物料理として活用し両地域でキジによる地域振興を図っています。16年度は、キジ肉全出荷量の約4分の1を占める3.5トン土湯温泉に出荷しました。



握手を交わす松浦町長と土湯温泉渡辺会長



第31回北宇和郡身体障害者福祉大会

7月8日、広見体育センターにおいて、第31回北宇和郡身体障害者福祉大会が開催されました。本大会は、身体障害者の社会活動への積極的な参加と自立更生意欲の向上を目的として、関係者約170人が集いました。31回を迎えるこの大会も、市町村合併により、北宇和郡の大会としては今年が最後となります。大会は、祝辞、各種表彰などが行われた後「絆～家族と地域」と題し、愛媛県人権問題研修講師の「のらねこ学かん」館長 塩見志満子さんによる講演が行われました。